



2019年9月30日

富国生命保険相互会社

フコクしんらい生命保険株式会社

契約者向け付帯サービスのラインアップ拡充について

富国生命保険相互会社(社長:米山 好映)とフコクしんらい生命保険株式会社(社長:櫻井 健司)は、2019年10月1日より、契約者向け付帯サービスのラインアップにセコム株式会社が提供する「セコムみまもりホン」を追加します。フコク生命グループの契約者はこのサービスを優待価格で利用することができます。

「セコムみまもりホン」は、救急通報や健康相談、家族間での安否確認など、高齢者や持病のある方とご家族のニーズに応えることのできる救急時対応サービスです。

総務省・内閣府の調査によると日本国内の65歳以上の人口は3,571万人、総人口に占める割合は28.3%とともに過去最高となり※1、「ひとり暮らし」の高齢者世帯も年々増え続けています※2。こうした社会構造の変化を背景に、家族と離れて暮らす高齢者に対するサポートへの関心が高まっています。

フコク生命グループでは、企業活動の原点である「お客さま基点」という価値観のもと、お客さまのニーズに対応した責任ある最適な保険商品・サービスの提供に努めており、こうした状況を踏まえ、この度、契約者向け付帯サービスのラインアップに「セコムみまもりホン」を新たに追加することとしました。

今後もお客さまにとって真に必要とされる商品・サービスの提供に努めてまいります。

※1 総務省「人口推計(2019年8月報)」

※2 内閣府「令和元年版 高齢社会白書」

「セコムみまもりホン」の特長

1. 安否確認サービス

設定した間隔(毎日～31日毎)、または曜日指定で「セコムみまもりホン」の画面に安否ボタンがポップアップ表示され、利用者側で設定できる時間内でのボタン操作の有無が、登録してある連絡先へ「安否確認メール」として自動送信されます。また、ご利用者が安否確認のボタン操作をせず、連絡も取れない場合、お客さまからのご要請によりセコムが様子を確認しに伺います。
(有料)

シニア向け救急時対応サービス
セコムみまもりホン



2. 救急時はセコムへ通報し、状況確認後現場対応します

「セコムみまもりホン」のストラップを引っ張るだけで、セコムへ救急信号が送信されます。セコムから「セコムみまもりホン」へ確認の連絡をし、状況に応じてセコムの緊急対応員の駆けつけ、119番通報を行います。なお、万一の場合にセコムがご利用者宅に入れるよう、ご利用者宅の合鍵を一組お預かりします。

3. 救急情報の預かりで、万一の際もスムーズに対応

セコムから119番通報を行った場合、予め登録した救急時の連絡先、持病、服用中の薬、かかりつけ医などの救急情報を「セコムみまもりホン」に表示。駆けつけた救急隊員や搬送先の医師への情報提供に努めます。

4. GPSを使って簡単にご利用者の居場所を検索できる

ご利用者の居場所を確認したいときは、携帯電話やパソコンから専用のホームページにアクセスして、居場所を確認できます。(無料)

セコムのオペレーターに電話で確認することもできます。(有料)

5. セコムの看護師に、健康やケガの相談が可能

体調や健康について、24時間365日いつでも、セコムの看護師に電話で相談することができます。(無料)

6. 携帯電話としての利用も可能

電話帳に49件の連絡先を登録でき、電話帳に登録した相手との発信が可能です。

※「セコムみまもりホン」は、auのサービスエリアでご利用いただけます。

以上